

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

E メール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2026年9月7日(月)

NO. 1711号

本号3頁

沖縄知事選

保革超えた沖縄の原点は戦争反対

元自民県連会長訴え デニー知事の勝利呼びかけ

大激戦となっている沖縄県知事選（13日投票）で、3選を目指す玉城デニー知事の勝利のため保守も革新も超えた、たたかいが行われています。元自民党県連会長の照屋守之氏は3日、県内各地を駆け巡り、同日、金武（きん）町で行われた「保革を超えた沖縄の原点とは」と題した演説会でデニー知事とともにこん身の力を込め必勝を訴えました。

照屋氏は、「保革を超えた沖縄の原点は戦争反対だ」と強調。沖縄の自民党には、かつて基地問題は保革と一緒に問題を解決するという意識があり、基地反対の県民大会などを何度も行ったが最近はこのできていないと批判しました。

「二度と沖縄で戦争してはいけない。81年前に戻してはいけない。そういう強い思いがあるから何としてもデニー知事を勝利させたい。しっかり頑張る」と力を込めました。

デニー知事は、辺野古新基地建設反対や「沖縄を戦場にしない」ということは沖縄県民の党派を超えた願いだと強調。「沖縄の戦後は終わっていない」「なぜ沖縄にこれだけの基地を押し付けるのか」と述べ「その戦後史にはピリオドを打たないといけない」と訴えました。

「県民は決して戦（いくさ）を望まない。命どう宝（命こそ宝）、ゆいまーるやんどー（助け合いですよ）という、ちむぐくる（真心）の心を込めて、子どもたちに渡したいということが、うちなんちゅ（沖縄の人たち）の誇り、アイデンティティーであることを示そう」と力強く呼び掛けました。

演説会参加者の女性（72）＝うるま市＝は高市政権が全面支援する相手候補について「県民の方を見ていない」と批判。「権力に負けない市民（のたたかい）だ」と勝利へ期待を込めました。

古謝候補は、極右排外勢力から公然と支援を受ける!!

沖縄県知事選で、自民党などが推薦する古謝玄太候補は、極右排外勢力から公然と支援を受けています。戦前の沖縄戦、戦後の米軍統治、復帰後の基地の重圧といった、国策の犠牲にされてきた歴史を訴える県民を、「被害者意識」「自虐史観」とさげすむ勢力との野合は、沖縄の歴史をないがしろにし、県民が大切にしてきた平和主義や地方自治、包摂性といった価値観の否定につながりかねません。

昨年の参院選で外国人敵視を掲げた参政党は、都道府県知事選で初めて、古謝氏を正式に推薦。和田政宗衆院議員は投票日まで現地に張り付くとしています。

同党の神谷宗幣代表は、沖縄「慰霊の日」（6月23日）の街頭演説で、県民の4人に1人が命を落とした沖縄戦は「しょうがない」と放言し、怒りが広がりました。

古謝氏は神谷氏と動画投稿サイトユーチューブで対談し、「政策協定の中に歴史認識は入っていない」として、問題視しない姿勢を示しました。さらに、記者団から選挙後の参政党との連携を問われ、教育について「意見交換しながら進めていければ」と述べました。同党は「自虐史観を捨て、日本に誇りが持てる教育」を政策に掲げています。

参政党以上に露骨な排外主義を掲げている日本保守党も古謝氏を推薦。同党の北村晴男参院議員は2日、古謝陣営の総決起大会で「戦後80年を経て被害者意識にさいなまれる県政をやめにしよう。（古謝候補のスローガン）『沖縄を前に』とはそういう意味だ」と訴え、事実上、戦後沖縄の歴史観を全否定しました。ところが、古謝氏はこの発言についても、「大丈夫」だと述べ、容認しました。

8月29日には、「大東亜戦争奉慰顕彰祭・講演会」と称したシンポジウムが豊見城市内で開かれ、名うての極右排外主義者が相次いで発言しました。主催した仲村覚・日本沖縄政策研究フォーラム理事長は、「沖縄の自虐史観の書き換え」に言及、「なんとしても古謝候補に勝ってもらいたい」と訴えました。

シンポジウムは当初、古謝氏も出席する予定でした。主催者は、古謝候補は「集会に大変強い意欲」を持っていたと紹介され、会場では古謝陣営の法定ビラが配られました。

最賃上げ幅が鈍化

47都道府県出そろう 1500円遠く

最低賃金の答申額（時給、円）

ランク	都道府県	答申額	現行額	引き上げ (上積み)	発効日
A	東京	1280	1226	54	10月1日
	神奈川	1279	1225	54	10月1日
	大阪	1231	1177	54	10月1日
	埼玉	1196	1141	55(1)	10月1日
	千葉	1195	1140	55(1)	10月1日
	愛知	1195	1140	55(1)	10月1日
B	京都	1180	1122	58(2)	11月16日
	兵庫	1172	1116	56	10月1日
	静岡	1154	1097	57(1)	10月15日
	三重	1143	1087	56	10月1日
	広島	1141	1085	56	10月11日
	茨城	1136	1074	62(6)	10月18日
	滋賀	1136	1080	56	10月3日
	北海道	1131	1075	56	10月1日
	栃木	1125	1068	57(1)	10月1日
	岐阜	1121	1065	56	10月1日
	群馬	1120	1063	57(1)	10月3日
	富山	1119	1062	57(1)	10月1日
	長野	1117	1061	56	10月2日
	福岡	1114	1057	57(1)	10月4日
	石川	1113	1054	59(3)	10月3日
	山梨	1113	1052	61(5)	11月1日
	福井	1112	1053	59(3)	10月4日
	新潟	1108	1050	58(2)	10月1日
	奈良	1107	1051	56	10月4日
	岡山	1104	1047	57(1)	10月2日
	徳島	1103	1046	57(1)	11月1日
C	和歌山	1101	1045	56	10月3日
	山口	1101	1043	58(2)	10月8日
	宮城	1098	1038	60(4)	10月1日
	大分	1096	1035	61(5)	11月1日
	佐賀	1095	1030	65(9)	11月15日
	福島	1094	1033	61(5)	10月16日
	愛媛	1093	1033	60(4)	11月1日
	島根	1092	1033	59(3)	10月10日
	香川	1092	1036	56	10月1日
	山形	1092	1032	60(4)	10月30日
	熊本	1092	1034	58(2)	12月1日
	青森	1090	1029	61(5)	10月29日
	岩手	1090	1031	59(3)	12月1日
	秋田	1090	1031	59(3)	10月14日
	鳥取	1090	1030	60(4)	10月3日
C	鹿児島	1090	1026	64(8)	10月25日
	長崎	1087	1031	56	11月2日
	高知	1086	1023	63(7)	10月29日
	沖縄	1086	1023	63(7)	12月2日
	宮崎	1085	1023	62(6)	10月24日
全国加重平均		1177	1121	56	—

最低賃金（時給）の今年度の改定額が3日、477都道府県の地方審議会で決まりました。人口を加味した全国加重平均は56円上がり、1177円となります。昨年度の66円増を下回り、労働者が求める1500円には遠く及ばず、地域間格差も残されたままです。引き上げ額が低すぎるなどの異議を受け付け、調査審議した上で決定されます。

最賃は中央最低賃金審議会（中賃審）が出した引き上げ額の目安を参考に、都道府県ごとに決めます。目安は「地域の経済状況」に応じてA～Cランクに分けて提示され、Aランク54円、B、Cランクが56円でした。目安を上回ったのは33府県で、昨年の39道府県から減少。10円以上の上積みは昨年11県でしたが、今年は無し。上積みの最大は佐賀県の9円でした。

引き上げ後の最高額は東京都の1280円、最低額は宮崎県の1085円です。地域間格差は8円縮小し195円になります。

3の日行動 沖縄の心殺すな!

作家の澤地久枝さんらが呼びかけて始まったスタンディング行動(3の日行動)が3日、国会正門前で行われました。約180人が参加し、「沖縄の心を殺すな」「非核三原則堅持せよ」「軍拡反対」など、思い思いのプラカードを一斉に掲げました。

共産党の吉良よし子参院議員が参加。吉良さんは、沖縄知事選挙に触れて「デニー県知事を3度当選させるためにも全国から力を合わせて行こう。二度と戦争をさせない、憲法を守りいかした政治を実現するために共に声を上げ続ける」と決意を語りました。

作家の渡辺一枝さんは、「8月15日は終戦の日だけれど、私たちは植民地で他国を侵略していたことを記憶に刻む日にしなくてははいけない。でも国会の上の人は自分は生まれていない時に起きたことことで反省しなくてははいけない」といっている。私たちは、この国の歴史に向き合って事実を伝えていく責務がある」と語りました。

都内から参加したTさん(81)は「ICC(国際刑事裁判所)の問題でも高市氏は何を考えているのか。見識もなく、あまりにも発言が軽い。これが国のトップだなんて本当に恥ずかしい」と話していました。

9条署名 埼玉土建 組合員の5倍・30万人目標で大奮闘

9条署名のとりくみが各地で行われています。埼玉では埼玉新婦人の会が1万筆、埼玉土建労組が3万筆を超えて集約しています。

埼玉土建労組は「9条署名」を組合員の5倍、30万人集めるため、様々な工夫を凝らしていますが、宣伝や集会用に、「横断幕」「フラッグ」「のぼり旗」「鳴り物」「ポケットティッシュ」を作成。そして、署名を50人、100人に挑戦する「署名レンジャー」を募集。すでに1人で300人を超える仲間も出ています。

川口支部では、106人が参加して菱山南帆子さんの講演を聞いた後、4か所で署名行動に取り組み、一気に127人の署名を集めています。

この秋は、各支部で活動者会議を開催し、仲間増やしと同時に対話で9条署名集めに力を入れています。

